校長ニューズレター（第６号・９月号）　宜野湾市立長田小学校校長：横山芳春

うれしい長田っ子の成長

9月9日から3日間、川嶋先生と西江先生を迎えて臨時講師招聘研修会を開催した。研修で学んだことを、子供たちと先生たちに書いてもらった。読んでいてとても嬉しくなったので、保護者の皆様にもご紹介することにした。

総合表現「かたくりの花」に取り組んでいる5年生の感想から。

まず、「自信がついた」「できなかったことができるようになった」という感想。

「最初は、恥ずかしい思いでいっぱいでした。けれど、かたくりの花をやっているうちに恥ずかしい事も無くなっていてかたくりの花の時間は、歌ってちゃんと詩を読めます。そして、自分自身とても自信がついたので良かったです。これからも、かたくりの花やっていきたいと思います。」

「はずかしがっていた私に、声を出す、歌うということの楽しさをおしえてくれました。それに、体の、手の先から、足の先まで体全体で、表現するということなどもおしえてくれました。―――川嶋先生と授業をしていると、かってにきんちょうがほぐれていきます。」

「かたくりの花をやるまえと、やった後では、とても成長したと思います。なぜなら、歌を歌う時も、ちゃんとこきゅうのしかたから教えてくれたし、こきゅうのしかたでも声の大きさなどは、変わるという事を、ちゃんと、教えてくれたからです。―――私は、はだしになることが好きなので、川嶋先生に『はだしになってください。』と、言われた時は、とてもうれしかったです。はだしになる事で、楽になり、その分、かたくりの花のろうどくや歌に集中できるからです。」

「最初に少しいやだなとか、はずかしいとか、みんな思っていたと思いますが、授業をすればそんなのなんてみんなふっとんだと思います。なので、ぼくはさいきん、はずかしがるのがきらいになりました。」

つぎは「友達がすごいなと思った（友から学んだ）」という感想。

「ぼくが、これはすごいと思ったのは、A君です。まえまではみんながこういっていました。『A君、声だせ！』でも川嶋先生がきてからは、声がでてきて学校ではみんなから、『A君やればできるじゃん』と。A君も笑顔になってきています。なので、川嶋先生はとてもすごいなーと思いました。」

「あまり大きい声でしゃべらなかったB君が、大きく言えていたのですごいなーと思い、ぼくも次のかたくりの花も、がんばりたいです。」

「C君が大きな声でした。ぼくも、C君みたいに、大きな声をだせたらいいです。そして、自分のところは、大きな声で、やりたいです。」

つづいて「想像力」を育てることができたという感想。

「声はおなかからだすこと。音楽にあうしゃべり方、ゆっくりはなしたり、早く声をだしたり。―――自分の想像したものを、自分の声で、体で表現すること。これからの目標は、自分で想像したことを、声で、体で表現する。想像したものを、ほかの人につたえることを目標にしてがんばります。川嶋先生、西江先生のおかげで、私は『かたくりの花』が野原いっぱいに咲いているような想像をすることができます。」

「―――（みんなの朗読が）かたくりの花が咲いているように聞こえて、とても静に風の音がひびいていました。なんだか、花畑にいるような感じがし

ました。」

すばらしい子供たちではありませんか。友人の成長を心から喜び、みんなの朗読を聞いて、かたくりの花が咲き乱れている情景を想像できるようになっている。はずかしかったぼく（わたし）が、練習を積み重ねるうちに、今までの自分を乗り越えていく。成長し自信を持ち出している。自分という輪郭をはっきりと作り出していっているのです。

子供の感想の最後に、みんなで力を合わせることの大切さを学んだということについて。

「とってもみんながんばり屋になっていて、いっしょうけんめいポーズをかんがえていたところは、とてもよかったです。『かたくりの花』は、5 年生全員で完成させたいです。」

「得たことは、みんなで力を合わせて、声をだし、みんなで感じたことを、どんどん表現し、かたくりの花を完成させる。」

「一人だけじゃなくてみんなで楽しくかたくりの花の時間を過ごせているのでとてもうれしいです。」

「私は、『かたくりの花』の授業をして、こんなに多くの人や先生などのささえがあって、総合表現をやってこれた事や、みんなと協力すると、こんなに楽しんだなあと思いました。」

このように子供たちは、全員が協力し合う楽しさ、全員が協力し合ってこそ、すばらしい作品を作り上げることができると理解し始めているのです。一人ひとりがいかに優れていても、協力し合わないといいものは創れません。みんなが主役だと気づき、他者への共感と尊重する心を育てているのです。他者とともに“生きる力”を育てているのです。

子供たちが総合表現で学んでいることを、整理しておきましょう。

① 自分に自信ができる（自分の存在を確かめる＝自我の確立）

② 想像力を育てる

③ 他者とともに生きていく力を育てる

以上 3 つにまとめました。これらの 3 つの力は、学力形成の基盤になるとも考えています。

最後に、若い先生の感想。

「かたくりの花の全体授業は今回 3 回みていただき、子供とともに多くのことを学び、成長することができました。第一連の場面では、初め声が出ていなかった児童が数名いたのですが、休憩時間のわずかな時間に川嶋先生の指導で見ちがえるように声が出るようになっていたので、驚きました。そのやり取りの中で学んだことは、どの児童も全員がすばらしい可能性を持っていること、それを発見させ、自信につなげ、全員の児童を輝かせてあげるのが教師の役目だということを気づかされました。第一連の練習終わりには鳥肌がたつほどに子供たちの表現がすばらしく、子供たちの可能性、すばらしさを再認識しました。―――個々の可能性を引き出すには『教師の指導力』というものが必要になってくる。これから自分自身、個々の可能性を引き出すために努力し指導力を高めていきたいと思います。今回、学んだことをこれからの全教育活動で実践し、子供たち一人ひとりが輝ける授業づくり、自己研鑽に勤めていきたいと思います。子供たちと一緒にこれからも成長し続けていきたいと思います。」

教師という仕事は、たえまなく学び続けていかなければいけない職業だと思います。長田小学校の共同研究者である川嶋先生がつぎのようにお話されていました。

「わたしは、これまで納得のいく授業がいくつできたかというと、ほんの少しです。だから（教壇に立つ以上）学び続けないといけないのです。そうしないと、子ども達に申し訳ないのです。」

前述の若い先生の感想は、“成長し続けること”をみずから誓っています。すばらしい先生です。

保護者の皆様、長田小学校のすばらしい子供たちと先生たちを、応援をしていただけたらと思います。

2009 年9月25日